

疫学と予防医学

科目到達目標:疫学方法論、考え方についての知識と方法を習得する。

科目責任者(所属教室):尾崎 米厚(環境予防医学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/31(月)	2	323	疫学概念	尾崎 米厚	環境予防医学	疫学概念	疫学の定義・概念・目的、疫学的方法論、疾病発生論、病因論、疫学的因果関係論
2	11/7(月)	2	323	疾病の定義と分類、国際疾病分類、疫学の諸指標	尾崎 米厚	環境予防医学	疾病の定義と分類、国際疾病分類ICD、疾病の頻度と分布をあらわす指標を説明できる。	疾病の定義、疾病分類、疾病頻度の測定、国際疾病分類、率と比、分布とばらつき、死亡率、罹患率、有病率
3	11/14(月)	2	323	年齢調整率と標準化死亡比SMR	尾崎 米厚	環境予防医学	年齢調整率と標準化死亡比SMRを計算できる。	標準化、直接法、間接法、年齢調整、標準化死亡比(SMR)
4	11/21(月)	1	323	疫学研究方法論 1	尾崎 米厚	環境予防医学	記述疫学を説明できる。	記述疫学、流行調査、仮説の設定方法
5	11/21(月)	2	323	疫学研究方法論 2	尾崎 米厚	環境予防医学	分析疫学:症例対照研究を説明できる。	症例・対照研究、オッズ比、マッチング
6	11/28(月)	1	323	疫学研究方法論 3	尾崎 米厚	環境予防医学	分析疫学:コホート研究を説明できる。	コホート研究、後ろ向きコホート研究、相対危険度
7	11/28(月)	2	323	疫学研究方法論 4	尾崎 米厚	環境予防医学	臨床疫学、介入研究の方法を説明できる。	無作為化比較試験、臨床試験、介入研究、無作為割り付け
8	12/5(月)	1	323	人口静態統計と人口動態統計、疾病・有病・障害統計、生命関数	尾崎 米厚	環境予防医学	人口静態統計と人口動態統計。疾病・有病・障害統計、生命関数(表)(平均余命と平均寿命)の概要を解説できる。	人口静態統計、国勢調査、人口ピラミッド、人口動態統計、死亡統計、疾病統計、有病統計、障害統計、患者調査、国民生活基礎調査、感染症動向調査、食中毒統計、生命表、生命関数、平均寿命、平均余命、健康寿命、早世指標
9	12/5(月)	2	323	疫学調査事例1(水俣病)	尾崎 米厚	環境予防医学	疫学方法論の応用して、社会医学的問題をみることができる。	感染症の疫学、流行調査、環境疫学、疫学研究が適切になされなかった事例
10	12/12(月)	1	323	疫学調査事例2(喫煙、飲酒の疫学)	尾崎 米厚	環境予防医学	モニタリング、症例対照研究、コホート研究、介入研究など疫学研究方法論の応用事例を説明できる。	記述疫学、分析疫学、実験疫学、疫学研究の活用
11	12/12(月)	2	323	疫学調査事例3(地域医療の疫学)	金城 文	環境予防医学	地域医療分野に関連する疫学の実例を知る。	地域医療課題に関する疫学研究事例、終末期に関係した疫学、QOL、QOD
12	12/19(月)	1	323	疫学調査事例4(薬剤疫学、薬害)	尾崎 米厚	環境予防医学	疫学方法論の応用方法。薬剤疫学、データのねつ造、不正について解説できる。	疫学研究方法の問題、薬害、疫学統計の誤用、研究倫理
13	12/19(月)	2	323	臨床疫学	金城 文	環境予防医学	臨床疫学、スクリーニング検査について説明できる。	臨床疫学、スクリーニング検査、検査の妥当性指標、事後確率(検査後確率)、ROC分析
14	12/26(月)	1	323	因果推論、バイアスと交絡因子	尾崎 米厚	環境予防医学	因果関係の推論方法、バイアスの種類と調整方法、を理解する。	因果関係の類推、バイアス、交絡因子
15	12/26(月)	2	323	健康管理、健康診断とその事後指導	尾崎 米厚	環境予防医学	健康管理、健康診断とその事後指導、健康診断の疫学的評価について理解できる。	健康管理、健康診断、事後指導、EBM、ガイドライン、がん検診の有効性

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

評価:定期試験100%

定期試験:1月23日(月)10:30~12:30 122講義室